



2/セミナー Placemakingデザインセミナー

日時 平成30年9月19日(水) 18:00 ~ 20:00 場所 韓国デザイン振興院(センター)

「モノ」から「コト」のデザインへ

去年の9月、韓国のデザイン発展の核である「韓国デザイン振興院(センター)」に招かれ、日本の「地域デザイン」についてお話ししてきました。

内容は茨城県小美玉市での5年間の活動を通じて、見えてきた成果や地域再生につながるデザインの役割、可能性についてです。参加者は著名なデザイナーや地域づくりに興味のある方々でした。韓国デザイン振興院の担当者によると、「モノ」のデザイン中心に発達してきた韓国のデザイン産業も、次第に、ソーシャルや地域づくり、生活などの人間中心のデザイン、つまり「コト」のデザインに目覚めてきているとの事でした。

少し昔のことですが、文化施設を作る

※ 渡知由先生(筑波大学)が広めている考え方。詳しくは <https://waiwai-shimotsuma.jp/placemaking/>

となると、必ず新たな建物を建てるという「ハード面」の構築が目的になっていました。しかし、最近の大都市の事例を見ると、使われなくなった倉庫を歴史を踏まえた形でリノベーションし、新たな文化空間として活用するなど、交流を促進する「ソフト面」に価値をおいた場づくりの事例が増えてきました。

反面、地方ではまだまだ「古いこと=悪い」「新しいこと=良い」という認識が多く、都市再生事業に影響を及ぼしています。そこで、「Placemaking*」、つまり、市民一人ひとりが当事者意識を持ち、居心地のよい場づくりを通し、結果、都市空間の魅力を高めていくことが重要だとつくづくと思う日々ですね!(李)。



3/ 日韓Column 韓国家庭料理教室 約100名参加



毎年冬場の楽しみ!今冬も2018年11月21日(水)からはじまり、2019年1月8日(火)まで、計9回韓国家庭料理教室を行いました。小美玉市の「そ・ら・ら」と牛久市のドキドキファームにて開催し、約100名の方々にご参加をいただきました。「割と簡単」韓国家庭料理で家族に喜ばれている」というコメントいただきました。今後の開催も楽しみにしてください!(李)!



二宮尊徳 一日一画

神道の意味

尊徳は神道とは不幸な状態を幸福にする道だと言いました。荒地を耕し瑞穂の国、つまり米が実る豊かな国にする事が神道の役割のはず。それが、金に困って占いや神札を配り金を貰うのは本当の神道ではない。神道を知っているなら貧乏な状態にはならないのだと。金がないなら金を生む工夫と努力をしない。汗をかいて勤労しなさいと教導していくのが神道の本道だと主張しました。



お知らせNews 坂本が 商談会・展示会 登壇します! ポスターパネル制作講座

情報整理とレイアウトの原則、プレゼンまでをブラッシュアップします。

日時 2019.1.29、2019.2.5 ※2日間 両日とも13:30~17:00

会場 ひたちなかテクノセンター
定員 12名 受講料 9,720円(税込)
対象 工業系、食品系のものづくり企業の事業主様、社員様、パワーポイントの基本操作ができる方 (PowerPoint2013 使用)

申込〆切 2019.1.22

問合せ先・お申込み QRコードからアクセス

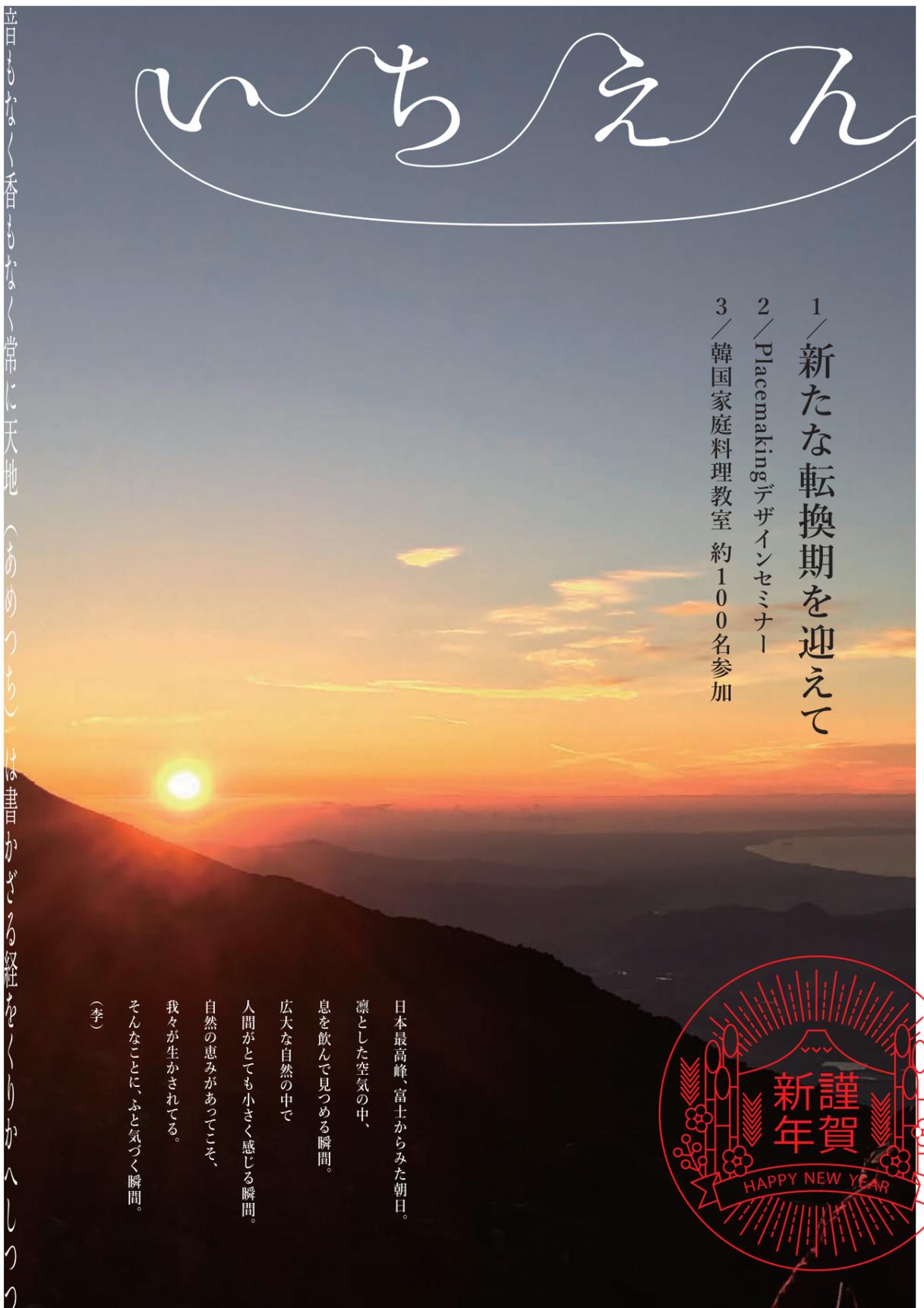


ichien

サービスメニュー

- ・デザインや印刷物のあらゆるご相談
- ・経営や事業のサポート
- ・人財リクルート戦略についてのご相談

年賀
料金後納
郵便
ゆうメール



- 1 / 新たな転換期を迎えて
- 2 / Placemakingデザインセミナー
- 3 / 韓国家庭料理教室 約100名参加



日本最高峰、富士からみた朝日。
 凛とした空気の中、
 息を飲んで見つめる瞬間。
 広大な自然の中で
 人間がとて小さく感じる瞬間。
 自然の恵みがあつてこそ、
 我々が生かされてる。
 そんなことに、ふと気づく瞬間。
 (李)

1 / いちえんColumn



代表取締役
坂本 健介

2019年 新しい時代の始まり

あけましておめでとうございます。2018年は多くの方からご縁をいただき、グラフィックデザインの枠に収まらないお仕事を沢山手がけることが出来ました。新しい挑戦の連続だったと思います。2019年は挑戦をしつつも、より専門性の高い独自の領域に集中していきたいと考えています。

日本では2019年 - 2020年は様々な事でターニングポイントになると考えています。かつて、二宮尊徳は茄子の味によって冷夏を予測し、天保の大飢饉に備えました。尊徳の茄子のように今の私たちが

謹賀新年2019年

未来を考える上で大事な指標にSDGsがあります。SDGsとは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための国際目標です。私達が行っているゴミ拾い活動や、国際交流もSDGsのひとつの活動になります。限りある地球環境を守っていく為に、世界が一丸となって動き始めています。組織としてSDGsに取り組むことはとても大事になってくると思います。

時代の変化に対応するために

2020年のオリンピックまでは景気は上向きと言われており、さらに年号が変わる事で景気が刺激されることが予測されているようです。改めて、私達はこうした時



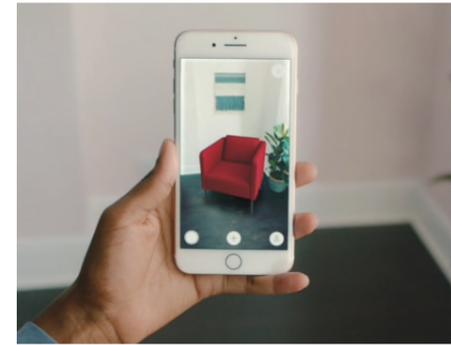
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGsの詳細は外務省のページへ <https://www.mofa.go.jp/>

代の変化に常にさらされているんだと感じます。生き残るため、あるいは豊かに暮らしていくためには、変化にうまく対応する必要があります。

IoT、AR、外国人労働者・・・

今後は、次の産業革命と話題のIoT関連産業や、エンターテインメント・広告関連だとAR技術が熱くなっていきます。スマホや、アマゾンのアレクサスピーカーのようなデバイスから、家中の家電などにアクセスできるIoTデバイスは既にも実現しています。ARはポケモンGOが有名ですが、スマホやタブレット上で、家電やインテリアを設置したり、腕時計などを装着できるサービスなども開発されています。IKEAは家具を自宅やオフィスに実寸で設置したように表示できるIKEAPlaceというサービスを展開しています。これもAR技術です。そして、IoTやARを支えるプログラミング技術の需要がとても高まることを見ずして各地で子供を対象にしたプログラミング教室が沢山オープンしています。その次は人工知能(AI)です。



IKEA Place

このように、今後いくつかの大きな波がやってきます。これらの波にうまく乗れる人と乗れない人は居ると思いますが、安易に参入すると「命取り」になるのも経営では定石と言えます。ですが、最低限、自分たちの仕事にどんな影響があるかを確認しておいた方がいいと思います。

外国人労働者との調和

出入国管理法が改正され、外国人労働者の受け入れが始ろうとしています。こちら

は流入した事で起きうる問題の解決が不可欠です。これを解決するためには双方に文化の違いを認識し、うまく共存していく仕組みが必要です。

年末に知人の餅つき会に参加したら、エチオピア人、オーストラリア人、中国人などグローバルな顔ぶれでした。「餅つき」という日本文化で世界の人々が楽しく交流できたのは素敵だし、お餅も美味しかったです。こんな場づくりが、日本のいたるところで必要になってくるのではないかと感じました。グローバルな場づくりやコミュニティづくりがますます重要になるとおもいます。外国人の皆さんとふれあう機会は確実に多くなりますのでどうやって付き合っていくのか?を考えておくのは大事だと思います。圧倒的に日本人の認識は足りないと感じていますので、少しでも交流に寄与できればと思います。



ディレクター兼デザイナー
李 員交 (イウォンギョ)

2018年度を振り返ってみると・・・

あけましておめでとうございます。新年を迎え、昨年を思い返すと、2018年は今までの活動の芽が出た年であり、転換期を迎える年だったと思います。

具体的にはずっと取り組んできた「卵かけご飯プロジェクト(以下「TKG」)」が形になったこと。「TKG」の発想は、前職で行ってきた小美玉市での5年間の地域デザインから生まれました。小美玉市の鶏卵の産出額日本一という事実は、外から見た私にとって魅力的なものでしたし、特に生でしかもライスにのせて食べる「TKG」は、世界中の何処にもない日本らしい卵料理でした。次第にもっとたくさんの世界

新たな転換期を迎えて

の方々に楽しんででもらいたいと思うようになったのです。

2年越しの実現、オール茨城でTKGセット商品をプロデュース

その思いが「TKG専用茶碗+食材セット」という形になりました。茨城の伝統と食材に徹底的にこだわり、器は笠間の陶芸



り上げ、米、醤油、玉子も厳選しました。9月後半から11月末までクラウドファンディングを実施し、約40名の支援者、30万円以上の資金調達ができました。資金の大部分は農家さんや醤油屋さんへ還元されますが、残りの資金を通し、2019年以降も「I♥TAMAGO PROJECT」で活動を続けていく予定です。

韓国最大の新聞に掲載 TV番組にも出演(BSフジ)

この活動は、ありがたく日本のメディア(朝日・産経・茨城新聞、BSフジ等)に掲載され、12月10日付で、韓国最大の新聞「朝鮮日報」にも、私の小美玉市での活動とともに「TKG」が掲載されました。

인구 5만 오미타마... 日서 가장 매력있는 市로 만들었죠

소셜 디자이너 이원교

주인들과 함께 도시 재형 특산물 개발-건강으로 만든 '계단달걀' 전국 명품도 인기

일본 한 연구소가 일본 47개 도 모두 현(광역자치단체)을 대상으로 매년 조사하는 '매력도 설문조사'에서 오미타마는 1위를 차지했다. 특히 '건강'과 '맛'이 높게 평가받았다. 이원교는 "오미타마는 '건강'과 '맛'이 높게 평가받았다. 특히 '건강'과 '맛'이 높게 평가받았다. 특히 '건강'과 '맛'이 높게 평가받았다."

자세한 내용은 '오미타마'를 소개하는 기사를 보시거나, '오미타마'를 소개하는 기사를 보시거나, '오미타마'를 소개하는 기사를 보시거나.

◀韓国の朝鮮日報
2018年12月10日
掲載。
下記から記事が
確認できます!



デザインから日韓をつなぐ・・・

来日10年目となる2019年、様々な感情が飛び交う最近です。2009年来日し、2010年から2012年まで筑波大で地域デザインを修学。2012年から行政に近い立場から日本の地域デザインに関わり、2016年からは民間企業の立場でデザインに取り組み、今に至っています。はじめての地域デザインに関わったと

きを思い出すと、なかなかうまく行かず、苦しかったことや、うまく達成できたときの喜ぶ方々の笑顔で心が温まったことが浮かんできます。辛くてもいつも励ましてくれた方々がいらっやして、今の自分に成長させてくれたと思います。

日本の地域デザインを韓国にも

日本で学んで実践した「地域デザイン」を、今後、韓国で広めていけたらと考え

ています。韓国での報道以降、日本での活動に興味を持ってくださる行政や活動家も多く、これをきっかけにデザインから「日韓をつなぐ」活動につながっていただけると考えています。

新たな生命を受け継いでいく・・・

仕事としても新たな転換期となる予感していますが、プライベートとしても、次世代につながる生命を受け継ぐ予備軍になりました(笑)。順調に行けば、6月後半7月には新たな生命が生まれます。正直、まだよいお母さんになれるか不安な部分は多いのですが、一人の生命を責任を持って育てていけるよう、さらに自分を磨いていく年にしていきます。仕事面でも母親の目線を持った、より深みのあるプロを目指していきますので、これからのよろしくお願いいたします。皆さんにもよい年になるよう、祈ります(李)!